

授業評価アンケート報告書

—よりよい授業への改善を目指して—

2018年度

四條畷学園短期大学

FD委員会

目次

1. 2018年度「授業評価アンケート」の改訂について・・・・・・・・・・1
2. 2018年度「授業評価アンケート報告書」から・・・・・・・・・・2
3. 総括・・・・・・・・・・3

別紙 1 学生による「授業評価アンケート」の実施について

別紙 2 中間アンケート 自由記述用紙

別紙 3 2017 年度前期「授業評価アンケート報告書」（入力フォーム）

《別紙1～3は、後期についても同じ内容・様式であり、前期分だけを掲載》

付表 「授業評価アンケート報告書」

2018 年度前期

2018 年度後期

《保育学科→ライフデザイン総合学科、常勤→非常勤教員の順》

1. 2018年度「授業評価アンケート」の実施について

本学では、2005年度から全授業科目を対象に、学生が個々の授業を評価するアンケートを実施し授業改善を進めてきました。2011年度からは、学生自身の授業への取り組み姿勢を問う項目を新たに設置し、教員の取り組み姿勢と授業内容に関する項目を整理しました。それぞれの項目についての回答は5段階で示され、学内平均値と合わせて教員にフィードバックされます。それを受けて教員が自己点検報告書を作成する流れは継続されました。

3度目の改訂となる今回の最大の改訂点は、授業評価の基準の明確化です。学生の授業に対する満足度を構成する要素は何か、総合的に良い授業とはどのような授業を指すのか等について、FD委員会で議論を重ね、授業は到達目標の達成すなわち学修成果によって評価されるべきではないかとの結論に至りました。

教員は到達目標達成のために学生の積極的な授業への参加を促すための工夫を行ったかどうかに加え、実際の学生の成績から到達目標の達成状況を、学生は授業時間外に学習に当てた時間を問われることになりました。

また、これまで期末に実施してきたため、アンケートに回答した学生へのリターンが少ない（授業が終了するため）等の声を受け、15回の講義期間中の7から8回目に中間アンケートを導入しました。教員は、中間アンケートで得た学生の意見や要望をただちに反映させた授業が可能になりました。学生もともにより良い授業をつくるという授業への参加意識を高めるねらいもあります。

さらに、授業評価アンケートの対象を教員が特に課題意識をもっている授業科目に絞ることで、学生の回答負担を軽減し、教員も「授業評価アンケート報告書」（「自己点検報告書」の名称と記載項目を改訂）作成において、十分な時間をかけて学修成果と関連づけた多面的な検討が可能になるのではないかと期待するところです。

2017年度から中間アンケートと最終アンケートの導入などの変更がありましたが、教員から良好なご意見が聴かれ、前年度の方式を踏襲し実施に至っております。

2. 2018年度「授業評価アンケート報告書」から

専任教員は2科目（2クラス）、非常勤教員は1科目

科目（1クラス）を任意で選択し、中間アンケートを実施、期末の最終アンケートを経て授業評価アンケート報告書を作成します。2018年度に提出された報告書は、前期54授業、後期39授業でした。（付表参照）

以下は、報告された内容を設問ごとに概観したものです。

①この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由

必ずしも課題意識のある授業が選択されたわけではなく、非常勤教員の場合は「担当科目がこの科目のみ」という理由が散見されました。専任教員にも「他の授業がオムニバスで中間アンケートの実施ができないため」「比較対照するため」「率直な意見がもらえそうなクラスだと思うため」等との理由がありました。

一方で、課題意識として上げられたものは「最も授業準備に力を入れている」「集中しにくい」「内容が難しい・苦手とする学生が多い」「授業形態が特殊」「複数教員が関わる授業で課題が多い」「復習課題を新たに課したことが到達目標達成に寄与したか知りたい」等がありました。

②中間アンケートの結果を受けて改善・工夫したこと

「特に要望がなかった」との回答は1割に満たず、ほとんどの授業で改善・工夫した内容が記述されていました。「授業進度の調整」「板書」「きめこまかな指示」「視聴覚教材の導入」「具体的な事例の提示や説明等」「マニュアルや課題プリントの作成・配布」等があげられました。空調や照明など、授業環境に関するものも見受けられました。

学生の要望に応えられない場合は、教員の意図や学習上のねらいについて理解を得られるよう説明を行ったという報告もありました。

③到達目標の達成状況（今後の課題も含む）

到達目標の達成状況に関して、概ね以下の三つの観点からの記述が多く見られました。

一つ目は、教員と学生の評価の一致・不一致に関するものです。二つ目は達成状況と学生が予習・復習等の時間外学習に当てた時間との関連について、三つ目はグループワーク、ディスカッション等の実施や中間アンケート後の改善との関連を述べたものです。

到達目標に達成しなかった学生に対して、さらなる授業改善の必要性に言及した報告も少なからず見受けられました。

3. 総括

新方式での実施に戸惑いの声もありましたが、専任教員は全員、非常勤教員もほぼ全員に近い数の教員が参加し、FD活動の組織的な実施が果たせたと考えています。

対象科目の任意選択に関して、選択の余地がない場合も多々ありましたが、教員・学生とも実施負担は減少しました。

新たに導入した中間アンケートについて、教員と学生が授業について話し合うきっかけとなった、すぐに改善の効果が見えた等の声も届いており、概ね役に立ったと好評でした。

報告書の記述からは到達目標の達成のために何が必要か、それぞれの教員が真摯に向き合った様子がうかがえます。到達目標を達成できたとする報告には、他の教員も共有できそうな授業上の工夫や指導法が記載されているものもあります。報告書の公開の意義がこうした点にも見出せるのではないのでしょうか。

到達目標の達成状況を授業評価の基準とした今回の改訂が、教員と学生が同じ目標を見つめ、その目標達成に向かって授業をつくりだしていく一助となれば幸いです。

平成 30 年 4 月吉日

各 位

四條畷学園短期大学 FD 委員会
副学長・FD 委員長 榊原 和子

学生による「授業評価アンケート」の実施について

平素より本学の教育・学生指導にご尽力賜り、心より厚く御礼申し上げます。

今年度も、さらなる授業改善・教育力向上に向け、新方式での授業評価アンケートを実施することになりました。円滑な実施にご協力賜りますようお願い申し上げます。

今年度も昨年同様、「学生の満足度による授業評価ではなく、授業到達目標の達成度（学修成果）を基準にして、学生・教員双方が評価することで、授業の課題・改善点を明確にする」「中間アンケートの導入により、学生の授業への参加意識を高める」以上 2 点をねらいとしております。

また、アンケート対象とする授業科目は、担当授業から専任教員は 2 科目（2 クラス）、非常勤教員の方には 1 科目（1 クラス）を任意で選択していただきます。今回もアンケート結果だけでなく、中間アンケートや学修成果とも関連づけて、これまで以上に多面的なご検討（「授業評価アンケート報告書」のご作成）をお願いすることになりますので、パイロットスタディとしての選択とご理解いただければ幸いです。

なお、上記「授業評価アンケート報告書」は、本学ホームページでの公開を予定しております。あらかじめご了承ください。

詳細・日程につきましては、別紙『授業評価アンケート実施要領』をご覧ください。

上記、宜しくご理解いただき、ご協力のほど重ねてお願い申し上げます。中間アンケート用紙は、事務室に用意させていただきます。アンケート調査は、携帯電話等を用いたで、何かと進め方等にご心配な先生方もいらっしゃるのではと存じます。ご質問等ございましたら、FD 委員にお問い合わせください。

以上

平成 30 年 6 月吉日

授業評価アンケート実施要領

四條畷学園短期大学 FD 委員会

新方式のねらい

- 学生の満足度による授業評価ではなく、授業の到達目標の達成度（学修成果）を基準に学生・教員双方が評価することで、授業の課題・改善点を明確にする。
- 中間アンケートの導入により、学生の授業への参加意識を高める。

実施対象

- 専任教員： 担当授業科目のうち 任意の 2 科目（又は同一科目 2 クラスでも可）
非常勤教員： 担当授業科目のうち 任意の 1 科目 = 1 クラス

※注 複数の教員が 15 回授業の途中で交代するオムニバス授業は、中間アンケートの結果が反映されないので
授業評価アンケート 対象から除外

実施スケジュール

4/5～	授業 1 回目～	授業の到達目標の周知 ・シラバス記載の到達目標（授業終了段階で、学生にできるようになってほしい事柄）を学生に明確に示す
5 月 下旬頃	授業 8 回目までに	授業評価「中間アンケート」の実施 1. アンケート用紙を教員が配布 （A5 サイズ：事務室で必要枚数を受けとる） 2. 学生が回答した用紙を教員が回収 *FD 委員会に提出は不要です 3. 翌回、学生の意見・要望等をフィードバック、 授業改善に活用する
7 月上旬 ～7/20 まで	授業 14～15 回目	授業評価アンケートの実施 ★1 ・学生はユニパにログイン、回答する ・集計結果の閲覧期間 7/21～8/31 *システム上、学生は結果を閲覧できません
～8/31 ㄨ切	成績評価後	授業評価アンケート報告書の提出 ★2 ・教員はユニパにログイン、回答する

★1-2 時期が近づきましたら、改めてご案内差し上げる予定です

実施内容

<学生用>

≪中間アンケート≫

- 問1 この授業の良い点を具体的に述べて下さい。
- 問2 この授業について改善してほしい点を具体的に述べて下さい。
- 問3 あなたは、授業中の分からないことや不明な点を質問したり調べたりしましたか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. そう思わない

≪最終アンケート≫

- 問1 中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組みは見られましたか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. そう思わない
- 問2 この授業は、積極的な参加を促すための工夫（質疑応答、課題の発表、グループワーク、コメントペーパーなど）がされていましたか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. そう思わない
- 問3 この授業の予習・復習および課題に当てた時間は、1週間でどのくらいですか。
1. 3時間以上 2. 2~3時間 3. 1~2時間 4. 30分~1時間 5. 30分未満
- 問4 この授業のシラバスに示されている到達目標をどの程度達成できたと思いますか。
1. A (90~100%) 2. B (80~89%) 3. C (70~79%) 4. D (60~69%)
5. E (59%以下)

<教員用>

≪授業評価アンケート報告書≫

(各欄 300 字以内)

- 問1 この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。
- 問2 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。
- 問3 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい（今後の課題も含む）。

授業評価アンケート（中間アンケート）

このアンケートは、履修生の学修成果を上げるため、授業をより良くする目的で実施するものです。記述内容は成績評価に関係しません。

問1 この授業の良い点を具体的に述べて下さい。

問2 この授業について改善してほしい点を具体的に述べて下さい。

問3 あなたは、授業中の分からないことや不明な点を質問したり調べたりしましたか。（あてはまるもの一つに○をつけて下さい）

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. そう思わない

【短期大学】授業評価アンケート報告書

授業評価アンケートを実施された科目についてご入力ください。
よろしくお願いいたします。

【学期】

【年度】

【授業コード】

【科目名】

【お名前】

以下の質問にお答え下さい。(各300字以内でお願いします。)

1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。

2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。

3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)

以下、授業評価アンケートを2科目とられた方のみご入力下さい。

【年度】

【学期】

【授業コード】

【科目名】

【お名前】

以下の質問にお答え下さい。(各300字以内でお願いします)

1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。

2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。

3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)

ありがとうございました。

[戻る](#)

2018年度前期「授業評価アンケート」報告書

教員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
合田 誠	2133211	社会福祉 (1・2・3組)	前期開講の担当の中で、「保育士」資格取得に関する基本原理に位置づけられる科目であるため、学生が受講してどのように感じたかに関心があった。授業評価をチェックすることにより、不足している点やさらなる改善の必要性を認識するためにも、本科目を選択した。	多人数の授業のため、教室の座席が、「たてなが座席」となってしまう関係で、後方に座る学生が黒板が見え辛いとの意見があったため、可能な限り大文字で対処した。また、補助資料等のチェックが早過ぎるとの指摘があった点については、再三確認をしながらすすめた。ノートに書く量が多いとの要望に関しては、「学修」の基本は「読み・書き」である原点を説明しつつ、可能な限り、表現を短縮した。	半数以上の学生が、A、B、Cを選択してくれた。しかしながら、成績評価では、その数値に比例していない結果となった。学力低下の学生が入学しはじめて久しいが、その低下の度合いは、加速度的に増している。厚労省から指示されたシラバス内容をこなしていくためには、現実とのギャップが広がってきているのも事実である。新年度から「新カリキュラム」に移行し、改訂内容がさらに濃密になっている点を考慮すれば、この悩みの打開策をなかなか見つけるための追求が課題となる。
鍛冶谷 静	2131331	発達心理学 I (1・2・3組)	講義で学生の人数が多く、双方向の授業が出来ていないため。	話し方がゆっくりすぎて眠くなるとの意見があったが、そのペースがちょうどいいという声もあるので、内容の充実に努めるようにした。教科書が好評で、授業で取り上げたページ以外のところも読んでいる学生が少なくないことが分かった。	学生の自己評価と成績はほぼ一致している。時間外学習への取り組みがほとんどできていないので、教科書を活用した課題の提示を工夫したい。
	2131332	発達心理学 I (4・5・6組)	講義で学生の人数が多く、双方向の授業が出来ていないため。	一人だけであるが騒がしくて落ち着かないとの意見があり、私語にはより一層厳しく対応するようにした。こちらのクラスも教科書は好評。プリント、板書も含めて学習の参考資料として提示する量については、ほぼ適切であることが分かった。	学生の自己評価と成績はほぼ一致している。時間外学習への取り組みがほとんどできていないので、教科書を活用した課題の提示を工夫したい。
香月 欣浩	2123013	図工 I	1年生で担当するクラスは、このクラスだけだったのと、1年生の感想をぜひ聞きたかったから。	分かりやすく、楽しいとのことだったのでその点は維持できるように、説明に実演を入れるなど工夫しました。	作品を作るだけでなく、子どもの造形表現を理解したうえで形だけの表現ではなく、子どもの身体になり取り組んでいた。次はさらに子ども理解を深め、支援していけるような経験をしてもらう。
	2134331	総合表現 (造形表現)	今年も、運営の難しいこの授業の感想がぜひ聞きたかったから。	感想はおおむね良好であったが、「1日にどれくらい進めればいいのかかわりにくい」という感想をもらった。毎回の目標を設けて、達成できるように助言した。	今後も、授業目標を各個人で設けるシステムを作っていく、意欲を継続できるようにしていきたい。

教員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
金川 朋子	2111031 2111032	日本国憲法と人権	今年度初めて担当した授業であり、担当授業について、すべてアンケートを行った。	アンケート回答で出てきた質問、要望等を学生に伝えて、回答、改善点を伝えた。講義において、発音、早口になるなど、聞き取りにくいという意見については、改善努力するように伝え、授業内で分かりにくい場合があれば、質問してもらうように依頼する。	シラバスをどの程度理解してるのかが、不明であるので、回答しにくい。授業内で、シラバスを常に意識しながら、到達目標を明確にしながら、授業を行っていきたいと思う。事前課題への取り組みがあまりにも低いので、事前学習に組み込み、授業を行うという流れができるように、工夫していきたい。
	2133051 2133052 2133053	障害児保育	今年度初めて担当した授業であり、担当授業について、すべてアンケートを行った。	アンケート回答で出てきた質問、要望等を学生に伝えて、回答、改善点を伝えた。講義において、発音、早口になるなど、聞き取りにくいという意見については、改善努力するように伝え、授業内で分かりにくい場合があれば、質問してもらうように依頼する。学生の自由記述(意見)の中で、「考えることがあるのが、よい」という意見があった。私の授業では、暗記ではなく、「考える授業」を目指していることを再度伝え、このような意見があったことがうれしかったことを伝えた。グループワークを取り入れた、学生同士の学びあいを行った。	シラバスをどの程度理解してるのかが、不明であるので、回答しにくい。授業内で、シラバスを常に意識しながら、到達目標を明確にしながら、授業を行っていきたいと思う。事前課題への取り組みがあまりにも低いので、事前学習に組み込み、授業を行うという流れができるように、工夫していきたい。
千田 耕太郎	2122014	音楽 I (学保クラス)	音楽の授業の中で1年生全員が受講し、かつ最も多くの非常勤講師の先生が携わっている授業であるので、選んだ。	改善点に関する要望は少なかったが、複数の授業担当者で授業に当たるので全員でアンケート結果を共有し、確認した。	到達目標を80%以上達成できたと回答した学生の割合が70%を超えており、学生の意識としてはある程度の目標達成が出来ていると感じているようだ。しかし、実際の学生のピアノ進捗状況を見ると、もっと進んで欲しいと感じる。気を抜かないでしっかりと指導していきたい。
	2122013	音楽 I (Cクラス)	音楽の授業の中で1年生全員が受講し、かつ最も多くの非常勤講師の先生が携わっている授業であるので、選んだ。	授業に関する要望が幾つかあったので、授業担当者全員でアンケート結果を共有し、要望について確認した。	到達目標を80%以上達成できたと回答した学生の割合が67%とまずまずの結果であった。しかし、実際の学生のピアノ進捗状況を見ると、もっともっと進んで欲しいと感じている。到達目標に到達出来るよう、気を抜かないでしっかりと指導していきたい。

教員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
長谷 秀揮	2124031	生活 I	この授業は、他の授業科目に同じようにパワーポイントや参考資料の作成などの準備に時間をかけており、そしてまた教員として特に力を入れている科目であるので、ぜひ学生の意見や評価等を知りたいと考えて対象に選びました。	学生からの声、要望として、授業を進めるスピードが早い、との記述がアンケートに複数ありました。それゆえに、その対応や配慮として進めるスピードを少しゆっくりにしました。具体的には、授業で使っているパワーポイントを送る速度をペースダウンして、かつポイントを赤字で明確に分かり易いように配慮し工夫し、改善を図りました。そしてパワーポイントをノートに“まる写し”する必要はないこと、赤字のポイントだけに絞ってノートすることを、その理由も含めて繰り返しかつ判りやすく説明しました。	アンケートの結果及び学生の成績から見て、シラバスの到達目標の達成状況については一部の学生を除いてほぼ達成できていると考えられます。しかし、少ないとはいえ数パーセントの学生が十分に達成できていないことが明らかなので、より多くの学生がシラバスの到達目標を達成できる状況になるように配慮と工夫が求められるといえます。学生の理解と習熟を促すことが出来るように、さらに授業の工夫、改善を図っていきようにしたいと考えます。
	2124032	生活 I	中間、そして最終アンケートによって、学生の側からの評価や意見などを、担当している授業科目について、できるだけ多くもらえるように、と考えて対象に選びました。そのことにより、多数の、また多様な意見や評価などを、学生の側から示してもらって参考とすることにより、この科目の授業について、さらに改善や工夫を図り、いっそう学生の側に立った授業にしたいと考えた次第です。	学生よりの声として、具体的で分かり易い授業で、特にパワーポイントを活用したクイズ形式の質疑応答や、写真やビデオ録画、またDVDなどの視聴覚教材を積極的に利用した授業内容が、その分かり易さにつながっている、といった意見が複数あり意を強くしました。学生の側からの意見等を、普段から日常的に参考にしながら授業の改善、工夫をさらに図っていきたいと考えています。	アンケート結果、及び学生の成績から見て、シラバスの到達目標の達成状況については、少数の学生を除き、おおそ達成できていると考えられます。しかし少数とはいえ、十分に達成できていないと考えられる学生がいることも明らかなので、より多くの学生が、シラバスの到達目標を達成できるように、さらなる配慮と工夫が必要であるといえます。学生の理解と習熟を促すことが出来るように、授業の工夫、改善をよりいっそう図っていきようにしたいと思います。
林崎 治恵	2121012	言葉と表現 I	多くの学生が苦手とする言葉や文章作成等の言語力を中心とした授業であるため。	学生の理解度や進行具合についての声かけを増やし、より時間をかけるようにした。それによって予定していた内容まで進みにくい場合は、次回に回すか変更するなどを行った。	全体として達成できている層の比率の方が多い。しかし、達成できていない層の割合もそれなりにある。達成できない層の比率がより少なくなるようにしていきたい。できる学生の意欲を下げずに苦手意識のある学生を積極的にいかに取り組ませるかには従来よりの課題であるが、新たな内容や手法を取り入れながら、少しずつ授業改善をしていきたい。

教員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
森 麻希子	2122011	音楽 I (Aクラス)	音楽の授業の中で1年生全員が履修し、かつ最も多くの非常勤講師の先生が携わっている授業であるため。	授業に関する要望がいくつかあったので、授業担当者全員でアンケート結果を共有し確認した。	到達目標を80%以上達成できたと回答した学生は54%に留まった。また授業の予習・復習等に当てた時間についての回答は、2時間以上が41%、1～2時間は32%とあり、到達目標についての回答と取組んだ時間とがほぼ比例する形となっている。実技科目の性質上、日々の取り組み方によって実力が大きく変わってくるため、学生のモチベーションを維持する方策を今後も探していきたい。
	2122012	音楽 I (Bクラス)	音楽の授業の中で1年生全員が履修し、かつ最も多くの非常勤講師の先生が携わっている授業であるため。	授業に関する要望がいくつかあったので、授業担当者全員でアンケート結果を共有し確認した。	到達目標を80%以上達成できたと回答した学生は45%に留まった。また授業の予習・復習等に当てた時間についての回答は、2時間以上が45%、1時間以下が50%であり、到達目標についての回答と取組んだ時間とが比例する形となっている。アンケートの結果から、半数の学生が取組みとしては不十分であると言える。実技科目の性質上、日々の取り組み方によって実力が大きく変わってくるため、学生のモチベーションを高める方策を今後も探していきたい。
山田 秀江	2131031	保育原理	特にありません	記入式のプリントは分かりやすく、書きやすいとの意見が多かったが、中には記入欄が小さいとの意見があり、できる範囲で記入欄が大きくなるように工夫した。	アンケートの到達目標に対する達成度の人数比率と成績のランクの比率が似通っている。自己評価と他者評価(成績)が比例していると推測できる。全体的に自己評価が高まるよう、個々の能力に配慮しつつ、より分かりやすい授業になるよう工夫したい。
	2136571	教育実習指導Ⅱ	特になし。	中間アンケートの改善点の結果が「特になし」という回答が多かった。書く量が多いや課題が多いなどの意見も少数あったが、実習や就職してから必要な力なので、減らすことはできなかった。ただ、授業内に作業する時間を増やしたり、分からないことは個別に聞きに来るよう促したりした。	アンケート回答者の8割程度が8割以上の達成度があると回答しており、学生の成績とリンクしていると推測できる。ただし、アンケート回答者が6割程度と少なく、それ以外の学生の達成度が分からない。それに比例するかのように成績不振(可または不可)が3割程度いる。全員が意欲的に取り組み、高い自己評価と成績が得られるような授業の工夫を考えたい。

教員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
吉井 珠代	2132031	子どもの保健 I	当該科目は、講義系科目であり、科目の性質上、必要とされる知識をより多く伝えていくことが求められており、それがどのように学生に伝わったかを把握するため。	配当された教室が縦長で、ビデオ教材を映す時のスクリーンが小さく後ろの学生からは「遠くて見えにくい」とのクレームがあった。そのため、映写するときは、小刻みに止めて振り返って説明をするように改善した。また、話すスピードも気を付けてゆっくり話すように努めた。重要と思われる記述の頁や行数は2回ずつ伝えるように努めた。	復習の習慣化のためノート提出を求めるとともに、15回の授業に対し、2回の小テストを実施して、理解度の確認をした。その小テスト後に模範解答の説明時間を設けた。また、最終の授業ではさらに小テストを中心に振り返りの時間を設けたことにより、定期試験の得点が高くなった学生が多く出た。これらのことは、シラバスの到達目標をある程度達成できたことを示していると考えられる。
	2133031	子どもの保健 I	当該科目は、講義系科目であり、科目の性質上、必要とされる知識をより多く伝えていくことが求められており、それがどのように学生に伝わったかを把握するため。	ビデオ教材を用いることが多く、学生には概ね「わかりやすい」と好評であるが、「早くて聞き取れない」との要望があったため、それ以降は、映写するときに小刻みに止めて振り返って説明をするように改善した。また、話すスピードも気を付けてゆっくり話すように努めるとともに、重要と思われる記述の頁や行数は2回ずつ伝えるように努めた。	復習の習慣化のためノート提出を求めるとともに、15回の授業に対し、2回の小テストを実施して、理解度の確認をした。その小テスト後に模範解答の説明時間を設けた。また、最終の授業ではさらに小テストを中心に振り返りの時間を設けたことにより、定期試験の得点が高くなった学生が多く出た。これらのことは、シラバスの到達目標をある程度達成できたことを示していると考えられる。
多田 知正	2110171	子ども文化Ⅲ (WEBデザイン)	唯一の担当授業だから。	毎時間のはじめに前回の振り返りをしていたが、アンケートで不要という意見があったので取りやめた。	学生ごとにももとの情報機器のスキルに差があったが、到達目標については概ね達成できたと思われる。
林 真千子	2132134	子どもの食と栄養 [D]	この科目は、2コマ続きの授業の為、学生の授業への集中がとぎれやすい。その為、本授業での学生の集中力を高める授業展開にたく選びました。	中間アンケートでは、配布プリントの記入欄の大きさ、内容の重複等についての意見がありました。この点についてそれらの改善を行いました。また、視聴覚教材を増やし学生の集中力を高めるようにしました。	8割以上の学生からは、シラバスに示されている到達目標の達成が出来ているという評価を頂きましたが、学生の成績をみますと授業内容を理解出来ない人もいますように思います。今後の課題として、授業展開の改善(学生の積極的な参加を促す)をより進めることに努めたいと思います。

教員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
柳本 哲	2115013	情報機器	特にありません。非常勤でこの科目のみ担当なので。	なるべく説明をゆっくり、声を大きめに、反復して行うようにした。作業の時間を十分にとるようにした。	学生はあまり予習復習の時間をとっていないことが分かる。課題も授業時間内に終わっている学生が多い。(学生が忙しいこと、パソコンが手近にないことも影響している)しかし、設定した到達目標は、ほぼ達成できている状況にはある。今後の課題は、学生のキータイプ入力にかなり差があることである。
小川 健二郎		社会的養護内容		配布資料1枚に対するパワーポイントのスライド枚数を減らした。見にくいという意見の元…	テストにおける成績というものには、個人差があり底上げはもう少しできるかなという印象。15回の授業を通して伝えたかったことが、伝わっている実感はある。
太田 早苗	2133233	相談援助	同学年3クラスの中で、前半期の授業出席率が一番低かったことから、5限目という物理的な要因以外にその原因を探ることができればと考えた。	<p>多数の学生から、授業者が出席番号順に作成したグループがマンネリ化しているとの指摘があったことから、後半は学生主導で自主的にグループ作成し、新たなグループで演習に取り組んだ。授業用プリントの形式では、穴埋め式の形式にしてほしいとの希望があり、授業開始当初から使用している書き込みできるテキストと併用して、形式を改善した。</p> <p>また、期末のレポート作成が不安だという学生も多かったことから、一レポートの書き方を講義した上で、プレ課題を作成し、授業内にミニレポートを作成させて、添削指導した。</p>	<p>中間アンケート時からの改善は半数以上の学生が実感できているものの、同学年3クラスの中では依然として出席率の改善が見られなかったのは残念である。特に欠席超過の学生に関してはもっと早い段階で何らかの対応策を講じる必要があった。</p> <p>授業の工夫に関しては8割以上の学生が何らかの評価をしており、授業に出席した学生の演習に対する積極性は高く、相談援助の技術習得は一定水準で得られたと考えられる。また、知識面に関してもレポート作成においては内容理解に幅はあるものの、提出者全員が合格レベルに達しており、相談支援の知識の基本的な理解は促進されたため、到達目標はほぼ達成できたと考える。</p> <p>今後の課題としては、さらなる知識定着を図るために特に復習にかかる課題設定を見直していきたい。</p>

教員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
長谷 範子	2134153	保育内容演習 (言葉・人間関係)	該当科目は、同じ内容を3. 4. 5限クラスを変えて授業しています。その中で、5限目の授業を選んだのは、もちろん、どのクラスにも教授内容は同様に実施しなければなりません。3. 4限の授業で学生から返ってくる反応を踏まえながら、より学生が理解しやすいように工夫して授業を進めることができるクラスであるからです。	中間アンケートでは、例えば「乳幼児の発達の姿」等、記述量が多い表の作成をしていた時期でもあり、レポート作成に時間がかかるとアンケートに回答している学生が多かったです。後半は、内容的にも元々演習は多かったのですが、より、学生自身が主体的に楽しいと感ずることができるよう、演習時にも学生一人ひとりが発言しやすくなるよう教員がサポートに回るなどの工夫をしました。	試験については、再重要事項に絞って発題したので多くの学生が一定の点数が取れており、アンケート結果から到達目標に対する自己評価も高く、ほぼ相当であると思います。ただ、自身の考えをまとめて表現することについては苦手意識が強く、そのような課題には初めから投げ出してしまうような姿勢がみられるので、今後は容易なことから考え、表現する機会を持ち、自己評価を高めていくことができるよう工夫したいと考えています。
岡山 貴範		保育内容演習 環境・健康	大きな理由はありませんが、3クラスの中で最後の講義時間だったため、アンケートに答えてもらえる時間をとりやすかったため。	提示するパワーポイントのスライド切り替えを長めにし、最後までプリントに書き記せるよう時間を延ばしました。学生が、講義内容に興味を持てるよう実際に制作したり、グループで考えられる時間を設けました。	アンケート結果から、おおむねシラバス通りの目標に達成できたと思いますが、一部の学生からはできていないと指摘があったため、今後は講義前にシラバスの内容を簡単に説明し、講義を行ってほしいと思います。

教員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
工藤 真由美	2210201	日本語表現法A	ライフデザイン総合学科1年次の卒業必修科目であり、年度ごとの比較も可能かと思ひ、選んだ。実際昨年度のクラスとも反応が異なり、授業の進め方や理解に合わせて方法を工夫しやすいので、このクラス(科目)を選択してよかったと思っている。	中間アンケートでもあまり改善などの要望が出なかった。困ったのは、グループワークやアクティブラーニングに対して、「良い」「大変良い」「楽しい」「好き」という学生と、「とても苦手」「できればやらないでほしい」などの正反対の意見があることである。そのため、中間アンケートを受けて、なぜ日本語表現の授業でアクティブラーニングなのかの趣旨説明を何週か行い、グループワークなど苦手な学生にも理解を求めた。その結果、「苦手」としていた学生が前向きに授業に取り組むようになった。	前向きに学生たちが授業に「楽しみながら」前向きに積極的に取り組んだ結果、大変好成績の学生がでて、成績評価が近年で一番良かった。今後もできるだけ、受け身の「日本語表現」ではなく、楽しみながら書くことを行い、知識として定着する授業へと進めていきたい。
工藤 真由美	2210203	日本語表現法B	ライフデザイン総合学科1年次の卒業必修科目であり、年度ごとの比較も可能かと思ひ、選んだ。実際昨年度のクラスとも反応が異なり、授業の進め方や理解に合わせて方法を工夫しやすいので、このクラス(科目)を選択してよかったと思っている。	中間アンケートでもあまり改善などの要望が出なかった。困ったのは、グループワークやアクティブラーニングに対して、「良い」「大変良い」「楽しい」「好き」という学生と、「とても苦手」「できればやらないでほしい」などの正反対の意見があることである。そのため、中間アンケートを受けて、なぜ日本語表現の授業でアクティブラーニングなのかの趣旨説明を何週か行い、グループワークなど苦手な学生にも理解を求めた。その結果、「苦手」としていた学生の大部分は前向きに授業に取り組むようになった。	一方で前向きに授業に「楽しみながら」取り組む学生と、やはり、グループワークやアクティブラーニングは苦手で、参加がしづらい学生が最後まで数人残った。その学生からは、やはり中間アンケートの改善が十分なされていないという回答が寄せられた。今後得意な分野を課題として課した学生からの要望に対して、どのように取り組むか、ただ趣旨説明だけでは十分に受け入れられないので、改善を工夫していかねばならないと思う。

教員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
榊原 和子	2132042	子どもの保健Ⅱ	授業時間内に積極的に質問してくる機会が多く、多くの学生にみられ、反応が良かったため、的確な意見が聞けると判断したため。特に、初めての授業科目であり、教授内容のレベルが適切であったかどうか。また、「こどもの保健Ⅰ」の授業と教科書の内容に重複が多く確認されたため、授業に対する学生のモチベーションを確認できればと思った。結果として、回答率77.8%であった。	私の担当科目では、話のスピードや板書の字などに対する意見が多く、今回も注意をしていましたが、中間アンケートでも同様の意見がありました。さらに、私が板書の前に立つので、字がみえづらいという意見がありました。そこで、学生にはその都度発言してほしい旨を伝え、以降数回の指摘がありました。そこで、「最終アンケート」では、1・2の評価で95%だったことから、次年度もこれらに注意したい。	到達目標を達成するため、語句を詳しく説明するように努めた。その為、理解を深められるように視覚的な印刷物を参考資料として毎回作成した。その結果、授業中に積極的に質問する学生が多くみられた。したがって、81%の学生が到達目標のB以上と評価している。しかし、1週間当たりの予習・復習時間30分未満という回答が43%となっているが、定期試験では、全員が優秀な成績を修めている。今後、知識の定着という面から工夫が必要と考える。
	2132043	子どもの保健Ⅱ	授業時間内に積極的に質問してくる機会が多く、多くの学生にみられ、反応が良かったため、的確な意見が聞けると判断したため。特に、初めての授業科目であり、教授内容のレベルが適切であったかどうか。また、「こどもの保健Ⅰ」の授業と教科書の内容に重複が多く確認されたため、授業に対する学生のモチベーションを確認できればと思った。最終回の授業で授業終了間際のアンケート実施のため、回答率が50.0%と低値になり、次回は注意が必要と考える。	私の担当科目では、話のスピードや板書の字などに対する意見が多く、今回も注意をしていましたが、中間アンケートでも同様の意見がありました。さらに、私が板書の前に立つので、字がみえづらいという意見がありました。そこで、学生にはその都度発言してほしい旨を伝え、以降数回の指摘があったが「最終アンケート」では、1・2の評価で86%だったことから、次年度もこれらを継続的に注意してゆきたい。	到達目標を達成するため、語句を詳しく説明するように努めた。その為、理解を深められるように視覚的な印刷物を参考資料として毎回作成した。その結果、授業中に積極的に質問する学生が多くみられた。72%の学生が到達目標のB以上、DとEが各1名と評価している。また、1週間当たりの予習・復習時間30分未満という回答が64%と多く、知識の定着という面からも工夫が必要と考える。
赤田 太郎	2270011	人間関係論	社会人リフレッシュ講座に該当する科目のため。	中間アンケートでは、「講義が若干早くついていけない」とのことでしたので、内容を減らし、スピードをゆっくりにしました。	アンケートの結果では、あまりその配慮が見られなかったという結果だったので、十分に配慮できてなかったと考えています。講義の達成目標については、十分に達成できたと考えています。
	2271171	性格の理解と把握	当初少人数で実施する予定の科目だったため。	少人数を想定したワークで構成していたものを、大人数でも対応できるように変更しました。	アンケートの結果では、90パーセントの人が配慮があったと認識しており、アンケートを受けて受講生に配慮することができたと考えています。講義の達成目標に関しても、十分に高い値が得られました。

教員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
伊東 めぐみ	2230011	医療事務総論	医療事務エリアの1年次履修科目のうち、実務の基礎となる必須の科目が2科目あり、そのうちのひとつがこの「医療事務総論」です。重点科目の授業評価を知っておきたいと思って選びました。	改善点を挙げている学生は少なかったのですが、一つ出ていたのは「授業のスピードをもっと遅くしてほしい」という意見でした。できるだけ、わかりやすくゆっくり説明しているつもりですが、医療保険制度の理解が中心となる授業なので、どうしても説明事項が多くなり、早口になっているのかと考え、できるだけ要点を絞って説明するようにしました。	「やや改善している」と評価している学生が多く見受けられたので、少しは改善できていたと考えられます。また、シラバスの到達目標達成状況ですが、定期試験の結果を見ると、「秀」「優」に該当する学生が56%で半数を超えていたところから、おおむね達成できているのではと考えます。
	2230021	医療事務 I	医療事務エリアの1年次履修科目のうち、実務の基礎となる必須の科目が2科目あり、そのうちのひとつがこの「医療事務 I」です。重点科目の授業評価を知っておきたいと思って選びました。	「計算がとても難しい」という意見が見られました。昨年度も同じような意見がありましたが、いくつものルールを組み合わせて算定し、点数を導き出さなければならないので、難しいと感じる学生がいるのは想定内ですが、少しでもわかりやすく説明できるよう創意工夫しました。(全員が計算できるようになるまで十分な時間を取って問題を解くなど)	シラバスの到達目標達成状況ですが、「可」の学生が38.9%と最多だったものの、「不可」の学生は5.6%と少なく、一定の理解度には到達していると考えられます。これからの課題としては、更に到達度を上げて「可」の領域の割合を減らしていくことだと思います。
奥田 玲子	2132131	子どもの食と栄養	・保育学科の保育士取得必修科目であるため。 ・90分2コマ、講義と実習から成る、学びの量の多い授業であるため。	「授業を進めるスピードが少し早い」、「書きながら話を聞くと理解が難しい。」との意見が数件見られた。この結果を受けて、学生の状況や、理解の程度を確認しながら、授業を進めるようにした。理解が十分でない学生には、声掛けを行い、出来るだけ質問に答える機会を設けた。さらに、繰り返し丁寧な説明を加えた。	理解度80%以上の学生が8割を超えた。シラバスの到達目標は概ね達成された。
	2240141	食品・食材の知識B	今年度から、学生の積極的な参加を促す授業形式に変えたから。(宿題として課題を課す⇒授業で課題発表⇒講評を加えて重要事項を解説)	中間アンケートの結果から、新しく取り入れたこの授業形式で学生が興味を持って積極的に学んでいることが確認できた。これを受けて、最後までこの授業形式を継続し、さらに定期試験に記述式の部分を1/2取り入れ、学生の学びを評価に加えた。	理解度70%以上の学生が9割を超えたが、理解度80%以上の学生は77%に留まった。今後は、学生の学び(提出された、または発表された課題)の内容に対する解説と、より理解を深めるためのフィードバックを増やして、学生の理解度をより高めたい。

教員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
服部 文彦	2210061	くらしのマナー「ろ」	1年生全員の必修科目のため、全体の意見を把握するため。	学生が積極的に発言をさせた。一方的な講義ではなく、さらに学生参加型の授業展開を多くした。	今回は、初めての授業のためさらに授業内容の精選や生徒参加型のアクティブラーニングを活用した授業展開をしていく。
	2210062	くらしのマナー「い」	1年生全員の必修科目のため、全体の意見を把握するため。	学生が積極的に発言をさせた。一方的な講義ではなく、さらに学生参加型の授業展開を多くした。	今回は、初めての授業のためさらに授業内容の精選や生徒参加型のアクティブラーニングを活用した授業展開をしていく。
安谷 元伸	2250241	表計算演習 I (Excel)	単独で行う演習形式の授業のため。また、昨年度にも授業評価アンケートの対象授業であったため。	中間アンケートでは、改善要望等が学生から出ることがなかったため、それ以降は、学生たちの作業時間を十分に確保できるよう適切な説明を行うよう心掛けた。	参加を促す工夫などにおいては「そう思う」「ややそう思う」を合わせて90%以上であり、一定の成果が得られたと感じる。同様にシラバス達成実感についても同様の傾向が確認されており、実際の成績ともその結果が乖離していないことから、ほぼ想定通りのシラバス達成目標に到達したものと考え。今後は、この状況を継続できるようにしていきたい。
	2211501	情報倫理	担当する授業の中の講義系であることと、昨年度も授業評価アンケートの対象に選んだため。	中間アンケートでは、教室の後部の学生よりパワーポイント資料の提示時間等に意見が出ていたため、提示時間の延長、文字情報等の内容の再検討を中心に授業改善を進めた。	中間アンケート以降の授業改善の結果、項目1の「要望に対する取り組み」の結果では「そう思う」「ややそう思う」の合計が94%であったことから、授業改善が効果的に機能したものと考えられる。項目4の「シラバス達成度」の実感の結果は半数以上が達成状況を高く評価している。しかし、低く評価する学生も見られており、その点が今後の課題であると考えられる。また、復習にかける時間も50%程の学生が30分未満であったことから、授業外学習の内容についても取り組んでいる「なわてドリル」の問題の再分析を行っていきたいと考え
畑野 清司	2223011	プレゼンテーション概論	この科目(1科目)だけ教えているから。	中間アンケート回収11人 ●改善して欲しいを記入は 1人 …進む速度が速い改善策として 同じことを繰り返して速度を落とす。	アンケート回収10人 ●90~100%と回答が 3人 ●80~89%と回答が 6人 ○70~79%と回答が 1人 私の評価は「全員ほぼ到達目標を達成した。」と考える。

教員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
岡本 久仁子	2250251	表計算演習Ⅱ (Excel)	1時間目の授業を受講するまじめな学生が多いかと思ったため。	その回の内容に即した予習もしくは復習問題を準備した。	表計算検定において合格ラインの成績(70点)がとれた学生がほとんどだったが、授業内においては100点を目指すように厳しく指導していたので、自分は目標に到達できなかったかと思ったかもしれない。ほぼ、目標は達成できたと思われる。
倉津 三夜子	2242021	アロマセラピー (演習含む)	担当している授業がこの科目に限られるため。	中間アンケートの結果、それまでの授業への満足度が高く、特に意識して改善したことはない。後半、中だるみしないように、個別のコミュニケーションの機会を作り受講者それぞれの体質や気質などの傾向を把握するようにした。さらに、その結果に応じて、個々の個性に応じた実習を進められるようにブレンドや使用法についての助言をするように心がけた。	今期の学生は、ひとり未提出者があったほかは、成績は良好で、シラバスの到達目標の達成度も高かった。どの学生も、これまでと比較して、授業態度が良く、集中力を保ち積極的に興味をもって受講していた。ただひとり、試験に際して、レポートの提出がなかったのが惜まれる。この生徒は授業中はしっかり取り組んでいたが、時間外の復習や、実習の実践ができなかったように見受けられる。レポートは実習についての記載が必要であった。達成目標を高く持っていたため、”中途半端なレポートを提出できない”という気持ちが強かった。今後の課題として、予習復習の実践をさらに意識して促し、学ぶ内容が実践を通して身につくように指導しることがある。
森田 浩司	2252021	情報システム論	前期はこの授業しか担当していないです。	重要語句にラインを引いたり、少し授業スピードを落とす意識で進めました。	到達目標を達成できたと回答してくれた層が多かったのでよかったと思う。楽しめることと必要な知識を得ることを両立させる部分はいつまでも課題であると思う。
堀口 節子	2272211	カウンセリング 概論	回答率が高かったから。	パワーポイントで文字だけでなく、図や表・イラストを利用して分かりやすい授業になるように工夫した。授業態度の悪い生徒へ声かけを積極的に行った。	8割以上の生徒が達成感を実感していると回答があった。達成度の高い生徒の方が成績が良かった。今回はグループでの話合いの時間が少なかった、今後の課題である。
黒田 恭史	2250141	文書処理演習Ⅱ (Word)	2回生履修の中で、どちらかというと個別指導が必要な対象学生の多い授業であるため。	学生の進度をきめ細かに把握して、授業進度を調整した。	およそ達成していると判断している。改善点としては、習熟の時間のさらなる確保。

教員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
岩崎 初音	2240531	製菓・ラッピング演習	製菓・ラッピング演習2年生の授業は今回で終了となりますので製菓・ラッピング演習が学生にとってどう評価されているのか知る為。	<ul style="list-style-type: none"> ・お菓子作りとラッピングが一緒になった授業なのに製菓演習全8回(1年生)と合同で作る為にお菓子に合った包み方が学べない。との回答がありました。焼き菓子の時には個包装にして試食のほか持ち帰れるようにした。 ・デモンストレーションとレシピの説明だけでは失敗をすることでしたので説明、デモをしながら学生と同時進行で作るようにした。 ・各班を回り手元を見て指導するようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間アンケート後の取り組みで75%の学生が到達目標に達成していた。 ・レシピの説明後学生といっしょに作る工程が良かったのだと思った。 ・班を回り状況に合わせての指導も良かったように思う。
	2240541	製菓演習	今期製菓演習は初めての授業でしたのでえらびました。	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生のお喋りが気になる→レシピ説明にピンマイクを使用した。 ・班で作るので失敗すると班員に迷惑をかける→学生と同時進行で一緒に工程を進めた。不安なところ分からない所は必ず尋ねるように促した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・到達目標達成は8人中1名の回答でその1名がCでした。 ・1年生は全員優秀な成績でしたが、シラバスの「自分一人でお菓子が作れるようになる。」には到達出来ていないとの自己評価をされたようです。
篠原 富美子	2234011	調剤請求	単一授業のため。	声のトーンを下げる早口に聞こえない話し方になるよう語尾を強調した。テキストページの確認を数回行うようにした。	達成率が70～79%が多い成績評価も70点代が大半である。予習復習はページを記入し取り組みやすいようにしているが、前半はテキストを持ち帰らないという現実により課題が残る。評価方法を変更しテキストによる予習復習が必須になるように工夫したい。
倉戸 啓子	2232312	医療事務 コンピュータ I	欠席が比較的少なく真面目に取り組む学生が多かったため。	教室のスクリーンの文字が見えにくいので大きくしてほしいという希望が出されたが、使用ソフトのスクリーン表示の大きさの変更はできないため、前に見にきてもよいということに対応しました。今後は希望により座席の変更も含めて対応したい。	アンケートでは到達(90～100%)と概ね到達(80～89%)がほとんどであったが成績からみると目標到達がややむずかしいとみられる学生がもう少し多くなる。他のクラスも含めての課題授業に欠席した学生に次の時間個別に対応しなければならないため、他の学生の質問への対応の時間が削られて悩ましいです。最初の授業で、欠席した場合は学校で次の授業時までには自習をするように伝えますが、まずしてきません。入学以後の経験から、欠席しても個別に教えてもらえるものと思っているからと考えられます。以前は授業補助の方がいて補っていただけなのですが。

教員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
鶴田 美香	2224012	色彩の基礎 I	授業評価アンケートを回収したから。授業に積極的な生徒が多い。	中間アンケートには特に要望はみられなかった。しかし自分から質問や声をあげることが一年生には難しいようであった。少人数だと書きにくいのかもしれない。よって授業のなかで声かけをおこないました。	色彩の基礎では、光の性質や配色のルールなども含まれているが、もっと自由度が高くファッションやインテリアに関する色のことはかりをずっと思っていたという声を毎年聞く。検定につなげていくための授業であることを理解してもらい、授業中にも生徒の知りたい項目(ファッションカラーやインテリアカラー)の内容を取り入れました。
	2224071	色彩の活用	授業評価アンケートを回収したから。	宿題が大変だという意見があったが、検定の対策において宿題と小テストで理解レベルをはかるため、宿題をとりやめるわけにはいかない。宿題量の調整を行い、負担軽減をおこなった。	色彩検定6名受験、5名合格。宿題および毎回の復習テストで知識の定着化ができたと思う。しかし授業に参加しているが、検定を受けない生徒に関しては意欲の低下があらわれていた。検定対策授業ということでポイントをしばった内容で意欲がないと、ついてくるが大変そうである。しっかりと検定受験へと結びつくよう、検定の必要性を教えていきたい。
澁谷 みどり	2112012	英語(英会話A)	3クラス中、一番反応がよくまとまりがあったので様々な意見がでると考えたため。	話すスピードが速いと指摘をうけて務めてゆっくりめに話すようにしたり、また、私語が多いため聞きづらい点もあるため、そこは学生にも譲歩してもらおうように呼びかけました。	基本を理解することを目標に進行速度もゆっくりめにしているためか、半時間の学習時間の確保と達成感ができているようでした。今後もこの調子ですすめ、話し方をもっと工夫して達成感から自信を持ってもらえるようにしていくつもりです。
橋尾 晋平	2210311	英語(英会話A)[い]	前期担当しているのは英語(英会話A)のみで、担当しているクラス両方にアンケートを取りました。	例年に比べると、中間アンケートでは、学生の自分本位な意見が目立つように感じ、残念です。例えば、授業のスピードが速いという指摘をした学生は、授業中に行った指示と全く異なる板書などを行っているようで、意見や要望を出す以前に自身の取り組みへの内省が足りていないように思います。このことを踏まえて、板書の仕方や授業の受け方など後半は厳しめに指導しました。	英語の授業に真摯に取り組む学生も多く、昨年の同クラスに比べると、好成绩の学生の割合が増え、素晴らしいと思います。ほとんどの学生が英語・日本語におけるコミュニケーション能力や論理的思考力を向上させることができたように思われます。
	2210313	英語(英会話)[ろ]	前期担当しているのは英語(英会話A)のみで、担当しているクラス両方にアンケートを取りました。	中間アンケートでは、特に学生からの要望はありませんでした。	僅かながら授業後に毎週家庭学習に取り組んだ学生もおり、テストに向けてきちんと勉強した学生も多かったように思います。身近な事柄を中心に英会話における表現力・リスニング能力を向上させることができたと考えています。

2018年度後期 「授業評価アンケート」報告書

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
合田 誠	2136661	保育実習指導Ⅲ	少人数で実施できる科目であり、かつ選択必修科目で自らが望んで選択しているため、モチベーションも高いと判断できるため。	中間アンケート時には特に要望等もでなかったが、少人数ならではの利点で、広く授業展開についての意見を、適宜聞き取ることができ、その対処を現状としてできる最大限に実施した。	今回は、年間行事の関係で、実習前の授業が7割を越え、実習後の授業が残り3割を切るという大変バランスの悪い授業となり、振り返りが不十分であった。理想的には、実習後の振り返りをじっくりと取り組むためには、4割程度の授業回数が必要となる。しかしながら、こればかりは、一定の授業回数のバランスを維持するためには、担当者がどうすることもできない。その年その年で流動的となる。シラバスに掲げた到達目標は、ある程度達成できたものとする。今後も、学生にとって内容の充実した実習ができるように「事前・事後指導」を徹底して行いたい。
鍛治谷 静	2131341	発達心理学Ⅱ	1年生のクラスで授業がやりやすいクラスとそうでないクラスを比較検討したかったから。	板書の量が多い、眠たくなるなどの指摘があったので、スライドの切り替えスピードや学生の作業の時間を入れるなど工夫した。	学生の自己評価よりも試験の成績は良かった。授業時間外学習の時間がほとんどとれていないのが課題であるが、時間外学習が不要なほど内容が簡単もしくは達成レベルの設定が低かったということか。意欲的な学生にプラスアルファの内容をどう提供できるか、悩ましいところである。
	2131343	発達心理学Ⅱ	1年生のクラスで授業がやりやすいクラスとそうでないクラスを比較検討したかったから。	改善してほしいという具体的な意見がほとんどなかった。授業中の雰囲気からすると喜ばしいことではなく、授業への関心の低さもあるのではと考えてしまう。(最終アンケートの回答率が5割弱、もう一つのクラスはほぼ全員なのに)	学生の自己評価は実際の成績に近かったが、全員合格基準には達成できなかった。分かりやすい、事例学習で必要な配慮等が分かった等、肯定的な意見も中間アンケートではもらったが、学生自身がさらに考察を深められるような授業展開を考えたい。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
香月 欣浩	2134253	保育内容演習 (造形表現)(5・6組)	特に理由はないです。全クラスにアンケートを行ないました。どんな学生からも率直な意見をもらいたかったです。	・説明の時に全員に見えやすいように考えておこなった。 ・できるだけ制作時間が長くなるようにした。	要望に対する改善アンケートの結果がよく出ていた。また授業に積極的に参加できるように工夫していたかの問いの結果もさらに良かったので安心した。しかし、シラバスの到達目標に対する回答が芳しくなく、検討の余地があると考ええる。
	2134251	保育内容演習 (造形表現)(1・2組)	特に理由はないです。全クラスにアンケートを行ないました。どんな学生からも率直な意見をもらいたかったです。	・説明の時に全員に見えやすいように考えておこなった。 ・できるだけ制作時間が長くなるようにした。	要望に対する改善アンケートの結果がよく出ていた。また授業に積極的に参加できるように工夫していたかの問いの結果もさらに良かったので安心した。しかし、シラバスの到達目標に対する回答が芳しくなく、検討の余地があると考ええる。さらに自由記述には詳細に学生の希望が書いてあったので、こちらも併せて次年度の授業に活かしていきたいと思う。
金川 朋子		障害児保育	担任しているクラスの学生が受講する授業であること忌憚ない意見が聞けると考えた	配付プリントでは、文字の大きさ、空欄の大きさに配慮し、学生が記入しやすいようにしました。授業では、プリント記入時間の確保に注意しながら、授業が円滑に進むように心がけた。	事前学習を記入してくるよう、事前にプリントを配ることで、授業での学びが深まった。障害特性の理解、適切な支援方法を、課題作成、発表を通じて、学ばせることができた。授業での学びと実習での学びを関連させ、より学生の理解が深まるように、授業研究を行っていききたい。
長谷 秀揮	2124041	生活Ⅱ	この生活Ⅱの授業は後期に担当している授業科目の中で、とりわけ授業準備や参考資料等の作成などに時間をかけて力を入れている授業科目であるので、学生の評価をぜひ知りたいと考え対象に選びました。	授業のパワーポイントについて、順次送って進めていくスピードが少し速くて書き留めることが大変です、という意見が若干あったので、ノートする為の時間を少し長めにして確実に要点を書き留めることができるように工夫・改善しました。	回答から見て全体のおよそ7割の学生が、ほぼ到達目標を達成することが出来ていて、そして同じく約1～2割の学生が、よく到達目標を達成することが出来ていると考えられます。今後の課題としては、クラスによって達成状況のバラツキがかなり出ているような結果になっているので、その点については、授業の工夫・改善が必要であると捉えています。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
山田 秀江	2136551	教育実習指導 I	学生の反応がよく、熱心に取り組んでいるクラスだった。そこで、学生自身の意識や到達度を知り、教員の印象と比較するためにこのクラスで行った。	特に改善してほしいことがあまり書かれていなかった。実践的な内容が良いという感想が多かったので、実際に実習で役立つ模擬保育を積極的に取り入れた。	学生の成績は優以上が74%と良い結果になっているが、学生のアンケートではB(到達度80%)以上の学生が53%と少なくなっている。教員側が感じている到達度と学生が感じている到達度に差があることがわかった。学生が感じる到達度が上がるように、日ごろの課題に対するフィードバックの工夫など評価方法を検討していきたい。
吉井 珠代	2133032	乳児保育	今年度より保育学科所属となり、初めて担当する科目であったこと。また、私自身が保育技術(主に“あそび”)に関しては知識・経験が乏しいため、事前にビデオ教材や某乳児保育園に実習に行き、入手した技術などを用いた授業を実施したことが受講生にどのように届いたかを確認するため。	まず、教室の教育環境(特に、ビデオ視聴時の照明や空調温度、座席の希望)の改善に努めた。また、Babyモデルを使った演習も数回実施し、概ね好評であったことから、次年度もこの状態を継続したい。	アンケート回答率が68%にとどまってはいるが、Aと答えた学生が68%、Bが21%であり、9割の学生がシラバスに指定している“到達目標”を達成できたと答えてくれており、胸をなでおろしている。
	2133031	乳児保育	今年度より保育学科所属となり、初めて担当する科目であったこと。また、私自身が保育技術(主に“あそび”)に関しては知識・経験が乏しいため、事前にビデオ教材や某乳児保育園に実習に行き、入手した技術などを用いた授業を実施したことが受講生にどのように届いたかを確認するため。	まず、教室の教育環境(特に、ビデオ視聴時の照明や空調温度、座席の希望)の改善に努めた。また、Babyモデルを使った演習も数回実施し、概ね好評であったことから、次年度もこの状態を継続したい。	アンケート回答率が69%ではあるが、Aと答えた学生が32%、Bが50%であり、合計82%の学生がシラバスに指定している“到達目標”を達成できたと答えてくれた。残りの学生は、CとDに各々9%(各2名)と回答していることから、概ね達成できたのではないかと考えている。
谷村 さくら	2123021	図工Ⅱ	図工Ⅱの授業のみ担当しています。2クラスありますが、このクラスは1時間目であるにもかかわらず出席率もよく、比較的熱心に課題にとり組む学生が多かったので、素直に回答してもらえると期待したからです。	「一部騒々しい学生がいるため、説明が聞き取りにくい、作業がしにくい」という意見があったので、説明時の静寂さを徹底して保つよう改善しました。話を聞かずに私語が多い学生に対しては、名指しで注意し、制作に集中できる環境づくりに努めました。	

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
谷 玲子	2134262	保育内容演習 (身体)	アンケートは全授業で行いました。申し訳ありません。	中間アンケートですが、授業場所の不満がありました。私には改善することはできませんでした。	清風校舎から北条校舎5階の体育館へ徒歩で上がってくるので、たいへんつらかったと思います。一生懸命歩いて上がってきている学生方に、開始時間すぐには始めることができませんでした。少し休憩してから始めようと伝えていました。90分の授業でしたが、上記の件もあり60分しか授業ができていません。これを補う方法として、家庭学習として①授業内容の振り返りをノートに記録②ユーチューブで幼児のダンスの動画を見る③音楽を選ぶ④動作図の練習をする⑤身体表現について調べるなどの方法を取りました。
堀口 節子	2136312	教育相談	当教科のみ担当。特徴が分かりやすいアンケートだから。	授業中に私語が多い、授業態度が悪い生徒がいて気になる等の指摘があり、後半はこまめに声かけをするようにした。前半よりは改善が見られたが、授業が途中で中断することもあり、学生が自ら積極的に参加できるような工夫が必要であると思った。	成績は学生間に差が大きかった。授業に対して興味・関心の低い学生に対する対応(対策)が必要であると感じた。また、予習・復習の時間が少ない学生が多い結果になった。あまり多くの課題は負担になると思うので、適度な課題量(課題内容)について考えることが今後の課題であると思う。
柳本 哲	2135013	情報機器演習	担当はこの1科目だけなので。	説明をなるべくゆっくりと行い、学生の反応をよく見ながら、ゆっくりな学生の状況に合わせてように留意した。	概ね達成されている。今後の課題は、キータイプ入力スキルの更なる向上を全体的にはかることである。
山田 千枝子	2134321	指導法の研究	この科目のみの授業である	言葉や説明がわかりにくいとのことがあったので、パワーポイントで写真や図を示すなどの工夫をして説明するようにした。	今回初めての授業を持たせて頂き、内容が今までどの程度理解されているかわからなかったが、実施期間もあり、シラバスの内容も変えるようにした。できるだけ、現役に向けて理解と実践が伴うような授業をしたいと考えている。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
工藤 真由美	2211201	教養の文学	<p>担当者が受け持つ科目のうち、純粋な選択科目であり、(他は必修か準必修科目)、学生の学びに対するモチベーションや、自己選択したことへの学びの責任や積極性などがみられるのではないかと思い選択した。昨年もこの科目を選んだので、昨年と比較することができるとも思ったから。</p>	<p>学修環境面で、教室の空調温度が適切でない(寒すぎる、暑すぎる)の指摘しかなかった。教室に温度調整がないため、いちいち事務室に依頼に行かなければならなかったが、その労力を惜まないことで、中盤以降は快適な授業環境になったと、改善が見られたの比率が高くなった。事前に授業前にも教室を覗き、教室の温度を確認し、あらかじめ事務所に依頼するようにも工夫した。それが改善につながり良かった。</p>	<p>授業において半分は自由課題の設定による学習であり、半分は統一課題の学習である。それぞれが課題を設定して学習していくので、学習を自分でうまく進めることができた学生は満足度が高い。ほかの授業に比べて、2～3時間、1～2時間の予習復習をした学生が非常に多く、負担感よりも、自己の選択した課題の学習のため、時間外の学習時間が多くても不満を抱かない傾向を感じ取られた。到達目標も9割近い学生が9割近く達成できたと評価していることは大変頼もしい。実際の成績も非常によく、満足度と学習到達度がリンクしていて大変望ましい結果である。来年にもつなげていきたい。</p>

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
榊原 和子	2223101	介護概論	この科目だけ担当。	板書の仕方、説明時のスピード。	教科書として、従来の介護福祉士養成のための教本「介護概論」を使用したのが、専門的に内容となりすぎていた為、広く介護とは何かという観点からみると、学生の関心が薄れてしまった感がある。特に、聞きなれない専門用語や法律等が多く、理解を深めるために時間を費やしてしまい反省点として挙げられる。したがって、次年度は教本を指定せず、広い視点から身近な介護をみつめられる授業としたい。また、学生の予習・復習時間をもう少し増やせるように工夫が必要と考える。
赤田 太郎	2271112	臨床心理学	中間アンケートで数多くの意見をいただいた科目だったため。	黒板の番書について文字が小さいとのことでしたので、大きな字で書くように工夫しました。また、板書の量がかなり多いと指摘されていたので、板書の量についても、必要な部分に絞り量を減らしました。	80パーセント近くの方が改善されたと答えていただいたので、改善による効果が得られたと考えています。今後についても、板書からプリントに変更するなど工夫を加えて生きたいと考えています。
	2271181	恋愛の心理学	昨年に比べて、講義の順番と講義の方法について変更を行ったため。	特に改善や工夫を求められなかった。	学生の目標達成の率が低いため、十分なニーズに応じきれない可能性があると感じました。受講者の恋愛に対する態度が二極化している傾向(積極的/消極的)があり、両方にも対応する形で講義を進めていく必要があると感じました。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
伊東 めぐみ	2235011	医療事務のための医学知識 I	医療事務系の資格取得に必須の科目のため、医療事務職を目指す学生のほとんどが履修しており、人数が多く様々な意見が聞くことができると予想でき、アンケートの対象としてふさわしい科目だと思ったため。	「途中で席替えをしてほしい」という意見があった。意図はわからないが、教室のほぼすべての席を使用している最後の席の場合は、パワーポイントの文字を読むときなど多少不利になるので、7回目か8回目で席替えをするのも一つの方法だと思った。	評価対象者30名のうち、14名の学生が「S」評価だったことから、シラバスの到達目標である「内科のや主な疾患と概要について理解する」を概ねクリアしていると考えられる。
	2230031	医療事務 II	科目の内容が「レセプト作成技術を習得する」という、医療事務職に就く際の必須のスキルを身に着けるための授業であり、尚且つ学生目線からすると難解な授業内容のため、アンケートによって授業のわかりやすさや改善点を知りたいと思ったため。	「授業の進むスピードが早い」という意見があった。カリキュラム内容を最後までこなすために致し方ない面もあるが、教員の工夫で早さを感じさせないわかりやすい授業になるよう努めている。具体時には、演習で行う例題の数を絞り、1問にかける時間を長く取れるようにした。	採点対象者25名の割合は、S、A、Bがすべて6名ずつという結果であった。Cは2名で、この結果からみると、難しい内容と感じている割には、概ね理解できている学生が三分の二以上いるということになる。今回の授業の良かった部分を次年度の授業に活かすようにしたい。
服部 文彦	2260181	接遇演習	初めて教える科目なので、今後の授業改善のために選びました。また、実習科目であり、創意工夫すべき内容も数多いためでもあります。	販売職・事務職の対応の内容に関して、実習を多く取り入れて、秘書検定1級・準1級、サービス接遇検定準1級の資格取得の増加につながるように内容を充実させた。また、就職に対応した面接指導においては、学生主体となるように創意工夫に取り組んだ。	シラバスの到達目標に関しては、多くの学生がA判定評価であった。今後、さらなる授業の創意工夫に取り組み、第一印象を良くできる就職指導なども進めていきたい。
	2214021	キャリアプランニング	初めての科目であったので、今後の授業改善のために選びました。	前半は、履歴書指導に時間を費やし、就職活動ややりたい自分の自己分析を行いました。中間アンケート後の後半は、集団面接やグループディスカッション等即戦力になれる内容の面接指導に重点を置いて指導しました。	就職活動に直接関係する指導であることから、実際の模擬面接を体験することで本番につながるきめ細かな実技指導を行った。次年度では、反省を踏まえた創意工夫に取り組む、さらに学生が高度な状況対応ができるようにしていきたい。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
安谷 元伸	2255111	ウェブデザイン1	昨年から継続して授業評価を実施していること。また、演習として比較的難しい実技内容も含むため、評価を通して授業改善を進めていきたいことからアンケートの対象といたしました。	中間アンケートでは「改善してほしい点」として、“スピードが速い時がある”との意見が5名から挙げられていた。実技内容であることから、個々人の技能の差により授業速度の感じ方も異なると思われるものの、苦手な学生でも理解ができるように紙媒体資料を充実させ配布、ゆとりを持った提示等に配慮して、後半の授業を進めた。その結果、授業評価アンケートの「要望に対する取り組みは見られたか」を問う項目では90%近くの学生から「そう思う」、「ややそう思う」と回答が得られ、取組んだ改善に一定の効果があったことが確認できた。	シラバスの達成率については、A(90～100%)が17%、B(89%～80)が42%であった。E(59%以下)と回答する学生はいなかったものの、D(69～60%)と回答する学生が1名見られたなど、HTMLという日常にかかわらない言語を扱う実技授業であることから、難解性を感じている状況も見られた。今後は、さらに内容の汎用性を高め、実技技能へ接続できる学習理解が深まる内容設定の模索を継続し、シラバスについても学生の達成感を高めるように進めていきたい。
	2211502	情報倫理	昨年から継続して授業評価を実施していること。また、演習を用いた講義内容として進めていることから、学生達の評価を確認し、授業改善を進めさらなる内容の充実を図りたいと考え、アンケートの対象といたしました。	中間アンケートでは「改善してほしい点」として、“授業最後に行う論述課題の時間がもう少し欲しい”との意見が3名から挙げられていた。論述については、試験に必要な内容であることから、各学生がじっくりと取り組めるよう、記述する時間を授業進度を工夫することで確保した。結果、授業評価アンケートの「要望に対する取り組みは見られたか」を問う項目で1名の学生から「あまりそう思わない」との解答が見られたが、その他の学生からは「そう思う」「ややそう思う」との回答が得られ、取組んだ改善が一定機能したことを確認できた。	シラバスの達成率については、A(90～100%)で31%、B(89%～80)で54%と学生が回答しており、概ねの学生がシラバスの到達目標を達成できたと感じていることが伺えた。他方、C(79～70%)で1名、E(59%以下)で1名、それぞれ回答する学生が見られていることから、現状の内容展開を踏襲していくと共に、さらにアクティブラーニング的内容の取り入れ等の模索も続け、学生の達成感を高められるようにしていきたい。
倉戸 啓子	2232322	医療事務 コンピュータⅡ	このクラスのみ担当。	一部の学生からもう少しわかりやすく説明してほしいとの希望があったので、当該学生にはより詳しく説明するように心がけた。	学生ごとの個人差が大きいですが、概ね到達できていたと思われる。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
澁谷 みどり	2112023	英語(英会話B)	どちらかという他のクラスに比べ率直に意見を述べるだろうと考えたため。	授業中のおしゃべりがうるさい、というのが最大の課題で、周囲にどういう影響を与えているかを踏まえて行動するよう提案をした。	改善点については、学生にも参加してもらい、全体をとおして授業に参加しやすい環境を作るよう努力するのは有効だと考える。また、テキストを終了させることで、到達目標を達成できたと感じる生徒が多かったのではないかと考える。
田端 拓哉	2271121	社会心理学	担当させていただいているのはこの科目のみです。	特段の変更の必要は認められなかったため、後半も引き続き、話す速さが速すぎないようにすることと、そして、授業中に挙げる例に受講生が実感しやすいようなものを用意することに留意しました。	シラバスの到達目標の達成状況は、試験受験者のうち、及第以上とそれ未満が半分ずつといったところでした。私の想像以上に授業内容を理解できていた受講生もいらっしゃいましたが、理解が不十分な受講生をなくせませんでした。毎回、授業の理解を簡単に確認しておりますので、その結果をもっと活用する方策を考えたいと思います。
鶴田 美香	2224021	色彩の基礎	授業出席者が安定しており、感想を得られやすいため。また基礎授業の理解度を知るため	授業のワーク作成では、個別の助言やサポートについて良いとの回答が多数あったので、引き続き実践した。その際に時間の平等性を意識的におこなった。	課題の提出物におけるシラバスの到達点は8割の生徒が達成していたが、より実践的に応用する発想が生徒に定着化できていないように感じた。学んだことを日常のファッション、インテリアなどに具体的に取り入れたり、自己の発想がうまれるようなワーク時間を今後とっていきたい。
	2224131	カラーセラピー	色彩の基礎にひき続き、生徒の試験を次回にいかすため。	意見は特になしでした。	カラーセラピーは自分の意見を発言しやすく和気あいあいとした雰囲気がい、とあるが、仲間や隣の席の人との交流を取り入れたワークでは、とたんに無口になりコミュニケーション遮断となる。チーム、ペアなどでのワークの発展が今後の課題です。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
中出 真理子	2240151	テーブルコーディネーター	この科目は昼休み後の3時間目、4時間目の90分×2コマと長いため、学生を飽きさせない、眠くならないようにするなどの工夫をしましたのでこちらを選びました。	授業進行速度が速い、という人と、そう感じない人といたしましたので、早く課題が済んだ人には、あらたに違う課題を与えてより学べるようにしました。	シラバスの到達目標には達成したと思います。
林 真千子	2240131	食品・食材の知識A	前回この科目で授業評価アンケートをとってから間があきましたので今回の対象と致しました。	学生から、板書中の難読文字にふりがなを書いて欲しいと要望がありましたので、その改善と、より見やすい板書に心掛けました。また、説明をゆっくり詳しく行うように致しました。	中間アンケートの結果後、上記のようなフィードバックを行ったところ、8割以上の学生から取り組みの改善が見られたという評価が得られたことと、学生の成績結果からシラバスの到達目標にほぼ達成できたのではないかと思います。今後共授業の改善に努めてまいります。
橋尾 晋平	2210321	英語(英会話)B	後期担当クラスのうちの1クラスであるため。もう1クラスでも実施しています。	中間アンケートの段階では特に学生からの要望はありませんでしたので、前半と後半は同じように進めました。	全員に回答してもらったわけではないですが、英語プレゼンテーションなど高度な取り組んでいただいたため、自信を持って取り組むことができた学生が少なくないように感じました。しかしながら、授業の中で行った実技(プレゼンテーション発表)の試験や最後の期末テストは概ね良好であり、ほとんどの学生が到達目標をクリアできたと思います。
	226217	International Commun	後期担当クラスのうちの1クラスであるため。もう1クラスでも実施しています。	中間アンケートの段階では特に学生からの要望はありませんでしたので、前半と後半は同じように進めました。	3人しか回答がないため、判断が難しいところですが、3人とも概ね成績はよく、難しいことにもたくさん取り組んでいただいた授業の中で、少しでも英語のリスニング、洋楽・洋画などの文化的なコンテンツへの興味を高めてもらうことができたと思います。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
畑野 清司	2253101	マルチメディア論	後期の担当科目がマルチメディア論1科目のため。	1. 学生から英語の筆記体は分らないので、分る表記をして欲しい、と要望があり、英語を表記する際には、筆記体を使わないよう心がけ活字体を書くようにした。2. 黒板の消すタイミングを遅くしてくれとの要望に若干遅くした。	授業については、大半の学生から解りやすいと評価をされ、シラバスの到達目標に向かって学生たちの大いなる努力が伺える。学生たちの成績も大変良かった。
兵頭 真由美	2230122	医療秘書実務	担当科目(クラス)がこちらのみでした。	今回の中間アンケートでは、「授業での改善してほしい点」について無記入1名、その他全員からは「改善点はない」との回答結果でした。さらに、授業での理解を高めるためのプリント資料を工夫しました。	最終評価の平均点数から、シラバスでの到達目標はおおむね達成できたと考えます。今後は、さらに医療業界を目指す学生皆さんが活躍できるように授業を進めてまいります。
保科 和久	2230351	社会福祉概論	この科目のみ担当のため	板書の工夫・授業の進度の工夫など	成績は例年良く、達成度はまずまずであろう。アンケート結果において「そう思わない」と回答した学生がいたことは当然反省します。
森田 浩司	2253122	マルチメディア演習	この授業しか担当していないからです。	わかりやすく資料をシンプルかつ図も含めるようにした。	最後まで授業を受けてくれた学生には目的が達せられたのではないかと思う。
山本 みどり	2260191	オフィスマネージメント	昨年度実施した科目で比較をしたかったため。	中間アンケートでは特に改善点の記載はなかった。しかし、履修者の学力格差を授業時間内の質疑応答や小テストで感じていたため、きちんと授業についてこられているか、指名して回答させた内容を丁寧にフィードバックするようにした。	この授業は毎回の予習が前提で進むため、また毎回課題を出すため、両方をこなすためには1~2時間の予習・復習が必須である。そのためきちんと予習・復習に取り組んだ学生は到達目標を90%~、ないしは80%~達成したと回答しているし、定期試験においても結果を出している。逆に言えば、いかに予習・復習を徹底させるかが課題である。

授業評価報告書 2018

—よりよい授業への改善を目指して—

2018年3月発行

編集 四條畷学園短期大学FD 委員会

FD 委員長 榊原 和子

FD 委員 千田 耕太郎 安谷 元伸

発行 四條畷学園短期大学

〒574-0001

大阪府大東市学園町6-45

TEL : 072-876-1321